

人は心に計画を持つ。主はその舌に答えを下さる。人は自分の行いがことごとく純粹だと思ふ。しかし主は人のたましいの値うちをはかられる。あなたのしようとすることを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画はゆるがない。主はすべてのものを、ご自分の目的のために造り、悪者さえもわざわいの日のために造られた。

「人は心に計画を持つ。主はその舌に答えを下さる。」と、神のご計画は（御心<sup>みこころ</sup>は）、人の思いを超えて、主ご自身が成就へと導かれることが述べられています。すなわち、私たちは信仰生活においても、人生の歩みにおいても、各々、計画を立てて（目的をもって）、その計画の成就を目標にして歩んでいきます。その際に、主は私たちクリスチャン一人一人を愛しておられたために、その計画が最善であるのか（御心であるのか）を語って下さいます。さらに、「人は自分の行いがことごとく純粹だと思ふ。しかし主は人のたましいの値うちをはかられる。」では、人は自分の行いが私利私欲<sup>しりしよく</sup>がなく純粹であると考えがちであることを指摘しています。そして、信仰者である私たちは、自分の行いが御心であるのか（主の目から価値があるか）どうかを、また、主の御心の時であるかを、主に祈り聞く必要があると述べられています。「あなたのしようとすることを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画はゆるがない。」と、主の御心であれば、その計画は、最善の時に、最善の形で成就するのだと語られています。

ですから、私たちクリスチャンは、何事においても、信仰により、主に祈り聞き従い、主の最善の計画の成就をみてまいりましょう。